

佐賀

福岡

吉野ヶ里遺跡 (吉野ヶ里町)

太宰府天満宮 (太宰府市)

長崎

大分

平和祈念像 (長崎市)

宇佐神宮 (宇佐市)

熊本

宮崎

熊本城 (熊本市)

高千穂峡 (高千穂町)

鹿児島

沖縄

仙巖園 (鹿児島市)

守礼門 (那覇市)

道の駅制定
30周年
記念開催



第11回「道の駅」シンポジウム in 宇佐

～地域価値(ブランド)を高める道の駅の役割とは～

宇佐市宇佐文化会館・ウサノピア
大分県宇佐市大字法鏡寺 224 番地

令和5年 11月25日 土 13:30～17:30

© K. P. V. B



シャトルバスのご案内
当日、シンポジウム会場までのシャトルバスをご用意いたします。詳細につきましては、ホームページにてご確認ください。

参加申込 はシンポジウムホームページ <https://michi-sympo.com> にアクセスし、参加申込フォームからお申込みください。
スマートフォンはこちらから



同時開催
道の駅まつり 宇佐市役所庁舎前広場 (イベント広場) 10:00 ~ 15:00
企業展示会 12:00 ~ 18:00

主催：第11回全国「道の駅」シンポジウムin宇佐実行委員会

【国土交通省九州地方整備局、大分県、宇佐市、(一社)全国道の駅連絡会、九州・沖縄「道の駅」連絡会】

【お問合せ】
第11回全国「道の駅」シンポジウムin宇佐実行委員会事務局
TEL : 03-5621-3188 / FAX : 03-5621-3153



～地域価値（ブランド）を高める道の駅の役割とは～

宇佐市宇佐文化会館・ウサノピア ※オンラインでも視聴いただけます

道の駅制度 30 周年をむかえ、「第 3 ステージ『地方創生・観光を加速する拠点』」をテーマに進展しており、多くの道の駅が誕生し、制度・機能も進化しているが、道の駅自体には課題（老朽化、安定運営）があり、また、地域の課題（地域活性化等）もある。本シンポジウムでは、多様性を生かし、持続可能な地域全体の発展、道の駅の安定運営を果たすべく、どのような取り組みを行っていくべきかにあたって、その方策を皆で考え、議論することを目的に開催します。

■プログラム

13:30 開会式

挨拶：シンポジウム実行委員会委員長
宇佐市長 是永 修治
祝辞：大分県知事 佐藤 樹一郎

13:50 基調講演

テーマ：地方創生における「道の駅」
第3ステージでの役割や貢献

講演者：宮崎大学 地域資源創成学部
教授 熊野 稔

15:20 パネルディスカッション

テーマ：地方創生の起点となる「道の駅」
～持続可能な地域づくりには、
道の駅はどうあるべきか～

コーディネーター：
国土交通省道路局企画課 評価室長
廣瀬 健二郎

パネリスト：宮崎県 都城市長
(50音順) 池田 宜永

道守大分会議 代表世話人/
一般社団法人由布市まちづくり観光局 代表理事
桑野 和泉

株式会社ゼンリン 九州支社長
古賀 寛人

道の駅「みえ」 駅長/大分県駅長会会長
後藤 節子

道の駅「阿蘇」 駅長/
九州・沖縄「道の駅」連絡会駅長会会長
下城 卓也

17:00 宣言

17:30 閉会

■基調講演



熊野 稔

宮崎大学 地域資源創成学部
教授

専門分野は、「地域都市計画・環境デザイン」。総務省地域力創造アドバイザーとして地域づくり現場で様々な支援を行っていると共に、道の駅の計画、設計及び防災支援の改善計画、マネジメントに関する研究を行う等、地域や道の駅の課題解決に尽力されている。2023年度から国土交通省の防災道の駅社会実験も担当している。また、九州沖縄道の駅連絡会の顧問として、「道の駅」の発展に貢献されている。

■コーディネーター



廣瀬 健二郎

国土交通省道路局企画課
評価室長

北海道小樽市出身。東北地方整備局山形河川国道事務所長などを歴任し、令和5年7月より現職。今年30周年を迎えた「道の駅」について、道路局における施策全体の責任者。現在、道の駅「第3ステージ」のコンセプトである『地方創生・観光を加速する拠点』の実現を目指し、道の駅の発展に取り組まれている。

■パネリスト (50音順)



池田 宜永
宮崎県 都城市長



桑野 和泉
道守大分会議 代表世話人
一般社団法人由布市
まちづくり観光局 代表理事



古賀 寛人
株式会社ゼンリン
九州支社長



後藤 節子
道の駅「みえ」 駅長
大分県駅長会会長



下城 卓也
道の駅「阿蘇」 駅長
九州・沖縄「道の駅」連絡会駅長会会長

